

# 2023年度メインオークション募集要綱に関する 意見募集の結果について

(対象実需給年度:2027年度)

2023年8月1日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1. はじめに
2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について
3. 今後の予定について

- 今年度に開催を予定するメインオークションに向けて、容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度:2027年度）と、容量確保契約約款の案について、意見募集を行った。（実施期間：2023年7月5日～7月19日）
- 本日は、意見募集の結果についてご報告する。

- 今回の意見募集は、容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度:2027年度）と容量確保契約約款の2点を対象としている。

関連文書等	概要	公表状況	
容量市場募集要綱 ※1※2	容量市場メインオークション募集要綱	・メインオークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024~26年度向け：公表済
	容量市場追加オークション募集要綱	・追加オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024年度向け：公表済
	長期脱炭素電源オークション募集要綱	・長期脱炭素電源オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	(今後公表予定)
容量確保契約書 ※1※3	容量確保契約約款	・メインオークションおよび追加オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
	長期脱炭素電源オークション容量確保契約約款	・長期脱炭素電源オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	(今後公表予定)
容量市場関連文書	メインオークションの参加登録編	・参加登録申請の手順、提出書類等について記載	2024~26年度向け：公表済 2027年度向け：今後公表予定 (参加登録・応札・容量確保契約書の締結 編)
	メインオークションへの応札・容量確保契約書の締結編	・メインオークションの応札情報の登録から、容量確保契約書の締結までについて記載	
	実需給前に実施すべき業務(全般)編	・余力活用契約・給電申合書等の締結、電源等情報の追加登録、FIT法適用の電源ではない場合の異議申立、事業者の退出表明に基づく市場退出の手順、提出書類等について記載	2024年度向け：公表済 2025年度向け：公表済 2026年度向け：今後公表予定
	電源等差替編	・電源等差替の手順、提出書類等について記載	
	容量停止計画の調整業務編	・容量停止計画の提出・作業調整手順等について記載	
	実効性テスト編	・電源等リストの登録・実効性テストの手順、提出書類等について記載	
	追加オークションの参加登録編	・参加登録申請の手順、提出書類等について記載	2024年度向け：公表済
	追加オークションへの応札・容量確保契約書の締結編	・追加オークションの応札情報の登録から、容量確保契約書の締結までについて記載	
	長期脱炭素電源オークション関連の業務マニュアル類	・長期脱炭素電源オークションの参加登録や応札等について記載、等	(今後公表予定)
	その他は順次発行予定	・リクワイアメント・アセスメント編、ペナルティ・容量確保契約金額編、容量抛出金編、等	(今後公表予定)

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を行います ※2：対象実需給年度毎に公表します ※3：対象実需給年度に依らず共通です

- 今回の募集要綱や約款の案は、蓄電池に扱いや長期脱炭素電源オークションとの関係、ノンファーム電源の扱い等、これまで本検討会や国の審議会で検討を行ってきた内容を反映している。

## 2. メインオークション募集要綱（案）と約款（案）の主なポイント

### ①2023年度メインオークションに向けて整理された事項

第48回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

整理された事項	募集要綱<上段>・約款<下段>の反映箇所
<p>■ <b>蓄電池に関する電源等の区分の扱いについて</b></p> <p>▶ 2023年度メインオークション以降の蓄電池の電源区分については、<b>安定電源と発動指令電源の選択(※)</b>を可能とする。 ※供給計画の届出に係るガイドラインに沿って適切に供給計画に計上することが求められる。</p>	<p>第3章 募集概要 3.募集内容（5）ア および イ</p> <p>なし</p>
<p>■ <b>長期脱炭素電源オークション落札分のメインオークションからの市場退出時のペナルティの扱いについて</b></p> <p>▶ メインオークションで落札した既設火力電源において、脱炭素化の改修を行うために<b>長期脱炭素電源オークションで落札した容量はメインオークション側から市場退出となるが、ペナルティは発生しない。</b></p>	<p>第7章 契約条件 3.市場退出（4）</p> <p>第3章 権利および義務 第12条 市場退出 1.⑫ 第13条 市場退出時の経済的ペナルティ 3.</p>
<p>■ <b>ノンファーム電源の扱いについて</b></p> <p>▶ 2023年度メインオークションにおいては、<b>ノンファーム電源は参加可能</b>とする。</p>	<p>第3章 募集概要 3.募集内容（5）キ（オ）</p> <p>なし</p>
<p>■ <b>メインオークションの調達量から控除する供給力</b></p> <p>▶ 2023年度メインオークションの調達量・約定処理において、FIT電源の期待容量や追加オークションで調達を予定している供給力および本機関の電源入札制度を活用した電源等の期待容量の合計に、国の審議会では整理された<b>容量市場外の供給力として見込まれる控除量を加えて、メインオークションの調達量から控除する。</b></p>	<p>第6章 落札電源および約定価格の決定方法 1.落札電源の決定方法（1）ウ 3.需要曲線の概要（3）</p> <p>なし</p>

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ①意見の件数

- 2023年度メインオークションの募集要綱と約款の意見募集に対して、計35件（5者）の意見提出をいただいた。
- 内訳は、募集要綱に関する意見が31件（5者）、約款に関する意見が4件（2者）であった。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ②意見の内容（蓄電池や揚水）

- 蓄電池に関する意見・質問は8件であった。
- 内容は、安定電源としての参加要件や、発動指令電源のリソースとしての扱い、リクワイアメントの対応の質問等をいただいた。
- パブコメへの回答の中で、質問にお答えするとともに、募集要綱等の記載の明確化や修正等の分かりやすさへの指摘とも受け止めており、引き続き、説明会資料などの充実も図っていく。

#### <意見・質問内容例>

区分	概要
募集要綱や約款の記載内容に関する意見・質問	電源等の区分について、蓄電池の安定電源と発動指令電源の選択に関する、期待容量や放電可能時間に関する質問
	安定電源として参加した場合の、蓄電池の放電可能時間（3時間以上）に関する質問
	実需給期間に、揚水の貯水量や充電量に対する3時間以上の供給力提供に関する質問
	蓄電池の、発電余力の卸電力取引所等への応札、電気の供給指示の対応についての質問
	安定電源として参加した場合の水力電源（揚水式）や蓄電池における、各月の管理容量に関する質問

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ③具体的な意見内容（抄）（1 / 7）

項目	ご要望内容・回答案
蓄電池 （電源等要件：安定電源）	安定電源の（オ）蓄電池について、「放電可能時間3時間以上」について、これは期待容量に対し放電可能時間が3時間以上あればよいとの理解でよいか。
	回答案 放電可能時間が3時間以上かつ、期待容量が1,000キロワット以上の安定的な供給力を提供する蓄電池で、供給計画の届け出に係るガイドラインに沿って適切に供給計画に計上されている、もしくは供給計画に計上する見込みがある場合は、安定電源にて登録することが可能です。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ③具体的な意見内容（抄）（2 / 7）

項目	ご要望内容・回答案
蓄電池 （リクワイ アメント）	「発電方式の区分が揚水（純揚水）または蓄電池の場合は各月の管理容量」とあるが、蓄電池における「管理容量」とはどのようなものか具体的にご教示いただきたい。
	<p data-bbox="499 439 2013 534">蓄電池の管理容量とは、送電可能容量を上限に蓄電池運用リスクを踏まえ任意に設定いただくものとなります。※この値がアセスメント対象容量になります。</p> <p data-bbox="499 591 2013 736">（参考資料） ・容量市場メインオークション募集要綱（案）（対象実需給年度：2027年度） 様式2 期待容量等算定諸元一覧（対象実需給年度：2027 年度） <a href="https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryoshijo_boshu.pdf">https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryoshijo_boshu.pdf</a></p> <p data-bbox="499 848 2013 933">・容量市場メインオークション募集要綱 提出様式 補足説明資料 <a href="https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryoshijo_teisyutu.pdf">https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryoshijo_teisyutu.pdf</a></p>

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ④意見の内容（長期脱炭素電源オークションやノンファーム、発動指令電源、スケジュール、ブラックスタート電源 等）

- 長期脱炭素電源オークションに関して2件、ノンファーム電源に関して1件、発動指令電源に関して15件、スケジュールに関して1件、ブラックスタート電源に関して1件、等の質問・意見をいただいた。
- 今回から長期脱炭素電源オークションに参加した場合の、容量市場の扱いの質問もいただくようになり、理解を深めていただくように、引き続き、説明会資料などの充実も図っていく。
- 発動指令電源については、2022年度より実効性テストを開始し、2023年度も夏季のテスト開始や2024年度には実需給期間の発動指令も行っていくところとなる。運用方法についてはこれらも踏まえながら継続的に改善を加えていきたいと考えている。
- 次回以降の参加要件や開催時期の固定化の要望などもいただき、継続的にオークションを開催する中での参考とさせていただく。

#### <意見・質問内容例>

区分	概要
募集要綱や約款の記載内容に関する意見・質問	長期脱炭素電源オークションにて落札された場合の、既設の火力電源の扱い、および既設の火力電源以外の扱いに関する質問
	ノンファーム電源の次年度(2024年度)以降の参加に関するご意見
	実効性テストの電源等リストのリソース登録方法に関するご意見
	発動指令電源の応札条件に関するご意見
	ブラックスタート電源を踏まえた対応に関するご意見
	事業者の業務運営の視点から応札時期の期間の固定化に関するご意見 ベースラインの算定方法に関するご意見

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑤具体的な意見内容（抄）（3 / 7）

項目	ご要望内容・回答案
長期脱炭素電源オークションとの関係	<p>市場退出について、「既存の火力電源が、脱炭素化のための改修を前提とせずに本オークションにおいて落札した後に、長期脱炭素電源オークションで落札し、本オークションの実需給期間と長期脱炭素電源オークションの制度適用期間が重複する場合は、長期脱炭素電源オークションの対象容量(キロワット)部分は本オークションから市場退出となります。その場合、市場退出時の経済的ペナルティは適用対象外とします。」と記載があります。「既設の火力電源」以外の電源における「長期脱炭素電源オークションにて落札され、長期脱炭素電源オークションの制度適用となった容量」は、市場退出時の経済的ペナルティの適用対象外となるのでしょうか。</p>
	<p>回答案</p> <p>当該記述は、既設の火力電源のみに適用されるものとなります。 2023年度長期脱炭素電源オークションにおける、既設の火力が脱炭素化のための改修を行う場合のメインオークションの参加の扱いについては、長期脱炭素電源オークション募集要綱（案）をご参照ください。</p> <p>（参考資料） 容量市場 長期脱炭素電源オークション募集要綱（案）（応札年度：2023年度） <a href="https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryou_long_bosyuyoukou.pdf">https://www.occto.or.jp/iken/2023/files/230705_youryou_long_bosyuyoukou.pdf</a></p>

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑤具体的な意見内容（抄）（4 / 7）

項目	ご要望内容・回答案	
ノンファーム型電源	<p>本年4月以降で電圧階級や空き容量にかかわらずすべての接続検討申込案件にノンファーム型接続が適用されることとなった。23年度オークションについてはノンファーム型接続電源が容量市場に参加できることとなったが、来年度以降の容量市場参加が不透明であり、電源保有者の事業性にも大きな影響を与えることとなる。事業者の予見可能性を確保する観点から、ノンファーム電源が容量市場に継続的に参加できるよう取り計らいいただきたい。</p>	
	回答案	頂いたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑤具体的な意見内容（抄）（5 / 7）

項目	ご要望内容・回答案
スケジュール	募集要綱が公表されてから応札の受付開始までの期間がここ数年毎年変化しており、リソース確保に向けた計画的な業務運営が困難となるため、期間の固定化を検討いただけないでしょうか。
	回答案 オークションの開催時期については、あらかじめ事業者の皆さまの準備も伴うことと認識しております。毎年度の開催時期を定めていった方が良いとのご意見につきまして、次回以降のオークションの開催時期の検討の参考とさせていただきます。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑤具体的な意見内容（抄）（6 / 7）

#### 項目

#### ご要望内容・回答案

「第86回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 資料3」には、今後発行される容量市場の募集要綱等にて、ブラックスタート機能に必要なkWhを除いて期待容量算定を行うことが反映される旨、記載されていたが、本募集要綱には記載がないことから、ブラックスタート機能に必要なkWhを控除せずに期待容量算定することになるか。

期待容量登録  
(ブラックスタート電源)

回答案

ご指摘を踏まえて、下記の「第86回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 資料3」の整理のとおり、募集要綱の記載内容を修正いたします。

【「第86回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 資料3」での整理】  
ブラックスタート電源が純揚水の場合、年間を通じて供給力の提供が可能な部分とブラックスタート機能に必要なkWhに分けられるため、「年間を通じて供給力の提供が可能な部分」からブラックスタート機能に必要なkWhを除いて期待容量の算定を行う。

一方、ブラックスタート電源が純揚水以外の場合、ブラックスタート機能に必要なkWhは渇水期においても自流により貯水容量にて確保できる見通しであることから、ブラックスタート機能に必要なkWhを控除せずに期待容量の算定を行う。

※但し、第87回電力ガス取引監視等委員会制度設計専門会合（7/28）資料6において、ブラックスタート電源にかかる論点が提示されておりますため、今後、本論点を取り扱われる審議会にて整理がなされ、上記取り扱いが変更となる場合は別途お知らせ致します。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑥募集要綱の反映例（期待容量の登録：ブラックスタート電源関係①）

#### 【募集要綱】 第4章 参加登録

【募集要綱】		【募集要綱】
<p data-bbox="424 322 600 357">&lt;変更前&gt;</p> <p data-bbox="51 392 341 464">4. 期待容量の登録 (略)</p> <p data-bbox="72 506 963 692">(6) バイオマス混焼のFIT電源（石炭混焼を除く）の期待容量は、以下のとおり算定します。 バイオマス混焼のFIT電源の期待容量 = 設備全体の期待容量 - (設備全体の期待容量 × 認定に係るバイオマス比率)</p> <p data-bbox="72 735 911 771">(7) 期待容量の登録に係る提出書類は以下のとおりです。</p> <p data-bbox="72 813 134 849">(略)</p>		<p data-bbox="1481 322 1657 357">&lt;変更後&gt;</p> <p data-bbox="1108 392 1398 464">4. 期待容量の登録 (略)</p> <p data-bbox="1129 506 2020 692">(6) バイオマス混焼のFIT電源（石炭混焼を除く）の期待容量は、以下のとおり算定します。 バイオマス混焼のFIT電源の期待容量 = 設備全体の期待容量 - (設備全体の期待容量 × 認定に係るバイオマス比率)</p> <p data-bbox="1108 735 2040 885"><u>(7) 一般送配電事業者が調達しているブラックスタート機能を有する安定電源で、発電方式の区分が「揚水（純揚水）」の場合、期待容量の算定にあたっては、ブラックスタート機能に必要な電力量 (kWh) の相当分を除いた値を入力してください。</u></p> <p data-bbox="1129 928 1958 963"><u>(8) 期待容量の登録に係る提出書類は以下のとおりです。</u></p> <p data-bbox="1129 1006 1191 1042">(略)</p>

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑥募集要綱の反映例（期待容量の登録：ブラックスタート電源関係②）

#### 【募集要綱】 添付資料（様式2）期待容量等算定諸元一覧

【募集要綱】	<変更前>	【募集要綱】	<変更後>
	<p>期待容量等算定諸元一覧（対象実需給年度：2027年度） &lt;対象；水力（純揚水のみ）、蓄電池&gt;</p> <p>（略）</p> <p>（記載要領）</p> <p>（略）</p> <p>・各月の運転または放電継続時間（期待容量算出用）については、各月の上池容量または各月の蓄電池容量（期待容量算出用）の範囲内で、最大出力で発電した場合に運転または放電可能な継続時間（整数）を記載して下さい。</p> <p>（略）</p>		<p>期待容量等算定諸元一覧（対象実需給年度：2027年度） &lt;対象；水力（純揚水のみ）、蓄電池&gt;</p> <p>（略）</p> <p>（記載要領）</p> <p>（略）</p> <p>・各月の運転または放電継続時間（期待容量算出用）については、各月の上池容量または各月の蓄電池容量（期待容量算出用）の範囲内で、最大出力で発電した場合に運転または放電可能な継続時間（整数）を記載して下さい。<u>なお、一般送配電事業者が調達しているブラックスタート機能を有する安定電源で、発電方式の区分が「揚水（純揚水）」の場合、期待容量等算定諸元一覧の「各月の運転継続時間(期待容量算出用)」には、ブラックスタート機能に必要な電力量(kWh)の相当分を除いた値を入力してください。</u></p> <p>（略）</p>

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑦具体的な意見内容（抄）（7/7）

項目	ご要望内容・回答案
ベースライン の算定方法	ベースラインの算定方法における「その際、当該母数が5日間となるよう、DR 実施日から過去30日以内（平日）で更に日を遡るものとする※。」の過去30日以内(平日)は平日のみを数えて過去30日を遡るのか、もしくは平日・土曜日・日曜日・祝日を含めた過去30日のうち平日のみを対象とするのでしょうか。
	回答案 ご指摘を踏まえて記載を修正いたします。 「過去30日以内（平日）」の表記を、 「過去30日以内（平日及び土曜日・日曜日・祝日）」に修正いたします。

## 2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果と対応について

### ⑧約款の反映例（別紙：ベースラインの算定方法）

#### 【約款】 別紙 ベースラインの算定方法

##### 【約款】

##### <変更前>

#### 1. 需要抑制（DR）の場合

①次に掲げる需要データの30分単位のコマ毎の平均値を算出する。

DR実施日の直近5日間（DR実施日当日を含まない）のうち、DR実施時間帯の平均需要量の多い4日間（High 4 of 5）の需要データ。

なお、直近5日間において、DR実施時間帯の平均需要量の最小日が複数ある場合は、DR実施日から最も遠い1日を除き、残りの4日間を採用する。

ただし、次に掲げる日については、上記の母数となる直近5日間から除外するものとする。その際、当該母数が5日間となるよう、DR実施日から過去30日以内（平日）で更に日を遡るものとする\*。

（下図参照）

（略）

##### 【約款】

##### <変更後>

#### 1. 需要抑制（DR）の場合

①次に掲げる需要データの30分単位のコマ毎の平均値を算出する。

DR実施日の直近5日間（DR実施日当日を含まない）のうち、DR実施時間帯の平均需要量の多い4日間（High 4 of 5）の需要データ。

なお、直近5日間において、DR実施時間帯の平均需要量の最小日が複数ある場合は、DR実施日から最も遠い1日を除き、残りの4日間を採用する。

ただし、次に掲げる日については、上記の母数となる直近5日間から除外するものとする。その際、当該母数が5日間となるよう、DR実施日から過去30日以内（平日 及び土曜日・日曜日・祝日）で更に日を遡るものとする\*。（下図参照）

（略）

### 3. 今後のスケジュール

#### ①メインオークションの応札に向けたスケジュール

- 2023年度メインオークションの応札に向けたスケジュールは、このあと8月よりオークション参加に向けた事業者情報や電源等情報の登録の開始を予定している。
- 各事業者による応札の準備を進め、本年度の応札受付期間は10月を予定している。

本日

- 6月 : 本検討会での募集要綱案、需要曲線案の提示
- 7月 : 募集要綱案に関する意見募集実施
- 8月上旬 : **本検討会で意見募集の結果について報告**  
: 参加登録・応札・契約締結等の実務説明会実施  
: **募集要綱の策定・公表、需要曲線の公表**
- 8～9月 : **参加登録（事業者情報、電源等情報、期待容量）や応札準備**
- 10月(予定) : **応札受付期間**
- 12月頃(予定) : 約定結果の公表

## 需要曲線の策定結果

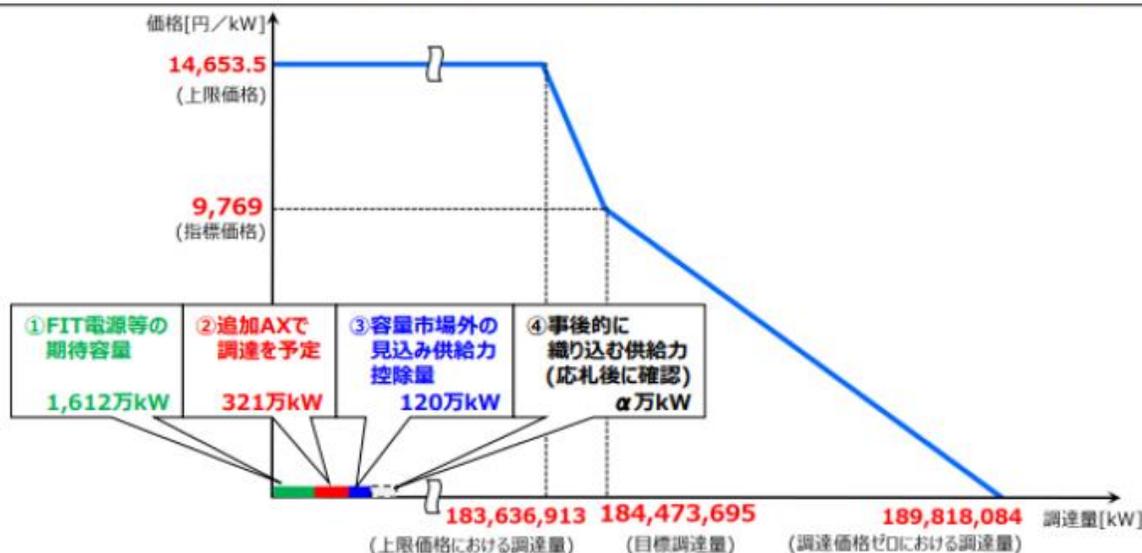
- 最新の供給計画や経済指標等に基づき策定された需要曲線、及び約定処理において加算する供給力は以下のとおり。

第48回 容量市場の在り方等に関する検討会  
(2023年6月30日) 資料4

- 2023年度メインオークション（対象実需給年度：2027年度）における需要曲線の原案と約定処理において加算する供給力の関係は下図のとおり。

- 目標調達量 : 1億8,447万kW
- 約定処理において加算する供給力 : 2,053万kW (①～③) +  $\alpha$  (④※)

※オークションで落札していない石炭とバイオマスの混焼を行うFIT電源等の供給力確認のうえ、事後的に織り込む  
(参考) 2022年度メインオークション：632万kW、2021年度メインオークション：553万kW



# 3. 今後のスケジュール

## ②メインオークションに関する年間スケジュール

■ 2023年度メインオークションの応札に向けた年間スケジュールは、以下を予定している。

2023年度												2024年度	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月

